

しまね女性活躍支援事業【島根県】

地域の実情と課題

- ①女性の就労継続意欲は高いが、管理職への昇進意欲は低い。
- ②企業において、女性の活躍推進のための取組が進んでいるとは言いがたく、経営者や管理職の意識改革が必要。
- ③県内の有効求人倍率は上昇を続け、人手不足が深刻な状況にあり、企業の女性活躍推進への関心は高まりつつある。
- ④中山間地域が多く、県内企業の99.9%が中小企業であり、小規模な事業体が多い。

事業の特徴

連携団体が主体性をもって女性活躍推進に取り組むため、「しまね働く女性きらめき応援会議」にワーキングチームを設置。
ワーキングチームメンバーが事業を企画、運営する体制とした。

事業の効果

事業の目標に掲げた「しまね女性の活躍応援企業登録数」は目標に至らなかったが、応援会議ではワーキングチームを置き、ワーキングで事業を計画することにより主体性を持って女性活躍推進に取り組むことができ、全県での取組が進んだ。女性の働き方の特性や課題等が明確になったので、今後のロードマップづくりに活かしていく。企業においても、セミナーなどにより経営者、管理職の意識改革が進み、女性活躍を進めることで、企業の人材確保につながる事例もあった。

目的・目標

全県での女性活躍推進の取組促進、企業の女性活躍の取組の促進、活力あるしまねの実現と県内企業の発展
【事業目標:しまね女性の活躍応援企業登録数
20社・団体(うち中山間地域 12社・団体)】
【達成状況:行動計画の策定は20件に達成したが、応援企業登録は4月以降となり、目標に至らなかった】

連携団体

【しまね働く女性きらめき応援会議】
＜構成＞

経済団体、農林水産団体、労働団体、女性・関係団体、教育機関、学識経験者、行政

今後の課題

全県での女性活躍推進の取組促進、策定した行動計画の実現のためのフォロー、経営者や管理職向けや、女性のスキルアップなどさらなる意識改革に取り組んでいく必要がある。

事業の概要

①ワーキングチーム会議開催等

応援会議の構成団体の女性や若手職員による4つのワーキングチーム（経営者・管理者の意識改革チーム、イクメン・イクボス推進チーム、応援企業推進チーム、働き方の調査・分析チーム）を置き、以下の②～⑤の事業の企画・実施。

②経営者及び管理職セミナー（経営者・管理者の意識改革チーム）

企業トップセミナー、男性管理職向けセミナーの開催

③イクメン・イクボス推進キャンペーン

（イクメン・イクボス推進チーム）

「イクメン」「イクボス」をめざす人が増え、理解も深まるようなキャッチコピーを募集し、優良賞に選ばれた4作品を使用したポスターを作成。

ポスターは企業や県内公共施設、民間商業施設や市町村などに掲示。



④優良取組事例発表会（応援企業推進チーム）

企業の行動計画の策定や実行を促進するため、「しまね女性の活躍環境整備支援事業費補助金」を活用し、優良な取組を実施している企業等の事例発表会、意見交換会を開催。

事例発表会の内容や優良取組事例を特集記事、特集番組として紹介。



⑤島根県における女性の働き方の特性や課題の調査・分析（働き方の調査・分析チーム）

女性活躍推進施策及び応援会議での目標設定の参考資料とするため、島根県における働き方の特性や課題の調査・分析の実施。

⑥女性活躍に係る計画策定支援【拡充】

企業の女性活躍を進めるために有効である行動計画策定の支援。中山間地域での取組を強化するため、アドバイザーを増員。